

目次

はじめに 用途 特長 警告	p.2
免責事項 注意	p.3～4
各部の名称 HV-3／H-3	p.5～6
付属品 別売品	p.7
ご使用の前に	p.8
使用方法 HV-3	p.9～12
リモコン (HV-3付属品) リモコンの使用方法	p.13
使用方法 H-3	p.14
使用前の点検	p.15～16
仕様	p.17～18
故障かな？と思ったら	p.18
修理およびメンテナンス	p.19

はじめに

シンワ「スピニングレーザー SD HV-3／H-3」シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をお使いいただく前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書は読み終わった後も大切に保管してください。製品梱包に貼付されている「保証規定（無償修理および盗難・火災補償）」をよくお読みのうえ、「保証書・ユーザー登録シート」にお買い上げ店名の記入があることを確認し、必要事項を記入して、シンワサービスセンターへFAXするかコピーを郵送してください。「保証規定（無償修理および盗難・火災補償）」と「保証書・ユーザー登録シート（お客様（控）」）は大切に保管してください。ご不明な点がございましたら、シンワサービスセンターまでお問い合わせください。

■用途

- 各種墨出し作業に。

■特長

- 付属の受光器を使用することで、照射位置が見えにくい屋外などで使用できます。※1
- 本体に付けても外しても充電できる着脱式のリチウムイオンバッテリーを採用しました。
- 本体と受光器は、防塵・防水性能IP66です。※2

■HV-3

- 水平出し、鉛直出しが可能です。
- 4段階でライン幅照射ができるスキャンモード付です。
- 本体の回転を止めて、ポイント照射ができるポイントモード付です。
- 設置後本体が不意に動いた場合、停止する衝突検知モード付です。
- 手動モードでX軸、Y軸を±5°の範囲で傾斜可能です。

■H-3

- 水平出しが可能です。
- ※1 ご使用になる作業環境や測定位置により正しく検知できないことがあります。
- ※2 防塵性能：塵埃が侵入しません。
防水性能：いかなる方向からの強力なジェット噴流水によっても有害な影響を受けません。

⚠ 警告

レーザーが目に入ると視力低下・失明を起こす恐れがあります。

- 光学機器で直接レーザーを見ないでください。
- レーザーを直接のぞきこまないでください。
- レーザーを他の人に向けしないでください。
- レーザー光路は頭の高さを避けてください。
- レーザー光路に反射物を置かないでください。
- 測定場所に「レーザー使用中」の警告表示をしてください。
- 炭坑や炭塵の漂う場所、引火物の近くでは使わないでください。爆発の恐れがあります。

⚠ 注意

保管・運搬時の注意

- 本製品の取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
- 本製品を持ち運ぶ時やご使用後は、必ず電源をOFFにしてください。
- 落下などによる強い衝撃や振動を与えないでください。不具合の原因となります。
- 使用後は必ず収納ケースに入れてください。
- 収納ケースの金具や取手が痛んでいたらスピニングレーザーを収納しないでください。収納ケースやスピニングレーザーが落下して、けがをする恐れがあります。
- 汚れた場合は柔らかい布で拭いてください。シンナーなどの揮発油やアルコール類で拭かないでください。
- 汚れや水をよく拭き取ってから収納ケースに入れてください。
- 次のような場所には保管しないでください。
 - 直射日光の当たる場所や高温(60℃以上)になる場所
 - 温度が著しく低くなる場所(−20℃以下)
 - 磁気を帯びた場所
 - 振動の多い場所
 - 子供の手の届く場所

使用上の注意

- 用途以外には使用しないでください。
- 本製品が正常に動作していることを確認してから使用してください(p.15～「■使用前の点検」参照)。
- 壁などに近付ける際、レーザー照射口に衝撃を与えないよう注意してください。
- 本製品は保護等級IP66の防塵・防水性能を有していますが、レーザー照射口に水滴・ほこりなどの付着、または急な温度変化による結露があるとレーザーポイントを正確に照射できなくなる場合があります。柔らかい布や届かない場合は綿棒などできれいに拭き取り、本体を室温に馴染ませてから使用してください。
- 本製品は完全防水ではありません。故障の原因となるので水に浸かるような場所で使用しないでください。
- レーザー照射口に触れないでください。
- 直射日光の当たる場所や高温となる場所での長時間の使用は、レーザーの消費電力が過大となり、性能や寿命を著しく劣化させ、故障の原因となりますので使用しないでください。
- USBケーブル接続時は防塵・防水性能が保証されません。
- USBケーブルを接続しない場合は必ずゴムキャップを閉めてください。
- 三脚を使用の際はスピニングレーザーの取り付けを確実に行ってください。
- 三脚にスピニングレーザーを取り付けた状態でスピニングレーザーを持ち上げないでください。
- 三脚を使用の際は倒れないように置いてください。

⚠ 注意

着脱式リチウムイオンバッテリーの注意

- 連続使用時間や充電時間は使用環境や充電回数などで変動します。
- 充電しながらの使用は劣化を早める恐れがあります。
- 充電中バッテリーが熱くなることがありますので、注意してください。
- バッテリーには寿命があります。充電と使用を繰り返すうちに、一回の使用時間が徐々に短くなります。一回の使用時間が大幅に短くなった場合は、寿命と恐れられます。新しいリチウムイオンバッテリー(品番70835)と交換してください。
- 充電完了後は速やかに充電プラグを抜き、充電器をコンセントから外してください。
- 長期間使用しないまま保管すると自然放電でバッテリー残量が減ることがあります。
- 外部接続端子やコネクタにほこりや汚れが付いている場合は、乾いた布などできれいに拭き取ってください。
- 防水仕様ではないので濡らさないでください。
- 本体に金属類を差し込まないでください。
- 指定用途以外の目的に使用しないでください。

免責事項

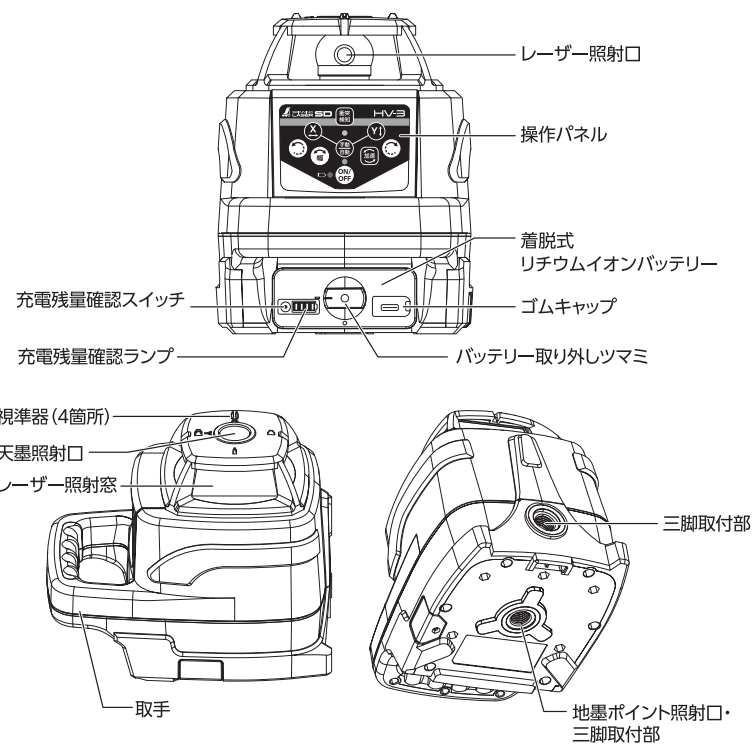
弊社は、本製品に関連して生じたお客様および第三者の結果的損害、付随的損害、逸失利益などの間接損害について、それらの予見または予見可能性の有無にかかわらず一切の責任を負いません。ただし、弊社に故意または重過失が存する場合またはお客様が消費者契約法上の消費者に該当する場合は、この限りではありません。本製品の使用に関し弊社が損害賠償責任を負う場合、本製品の代金相当額を限度額として賠償責任を負うものとします。



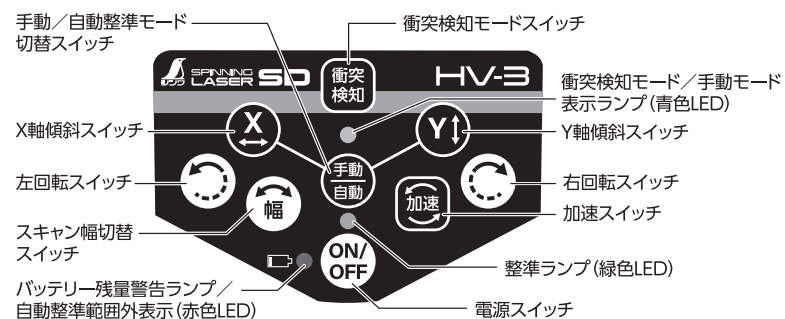
レーザ放射
目への直接被ばくを避けること

最大出力 4.5mW
クラス3Rレーザ製品 JIS C 6802:2018
MADE IN CHINA

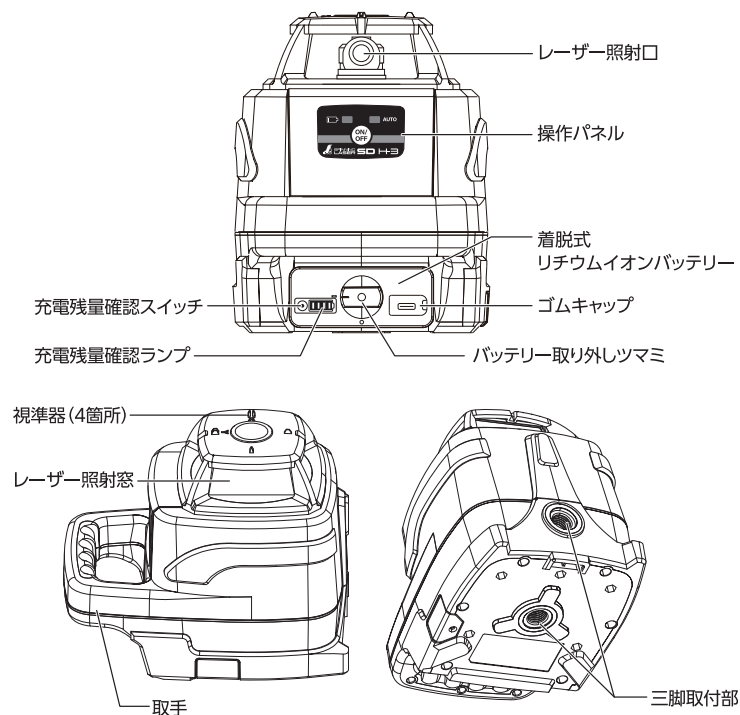
■各部の名称 HV-3



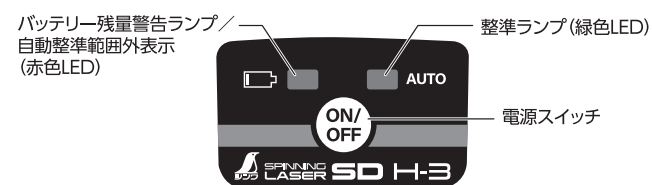
●操作パネル



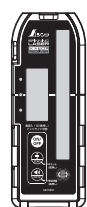
■各部の名称 H-3



●操作パネル



■付属品



スピニングレーザー
デジタル受光器付の付属品

対象製品
品番 70818 品番 70819
品番 70820 品番 70821

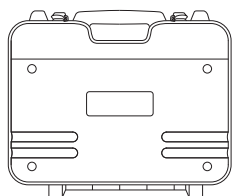
品番 70838
●デジタル受光器



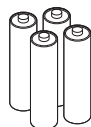
スピニングレーザー
受光器付の付属品

対象製品
品番 70806 品番 70807
品番 70816 品番 70817

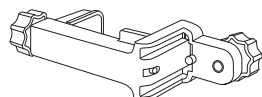
品番 70840
●受光器



品番 70834
●収納ケース



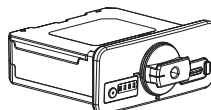
●単3アルカリ乾電池 4本
(受光器用)



品番 70833
●受光器ホルダー



品番 70836 (グリーン用)
品番 76793 (レッド用)
●レーザーメガネ



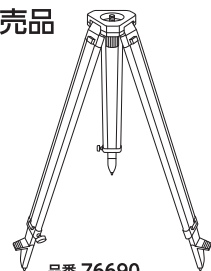
品番 70835
●着脱式バッテリー (予備)



品番 70837
●リモコン (HV-3付属品)



●単4アルカリ乾電池 2本
(リモコン用)



品番 76690
●三脚 平面脚頭式

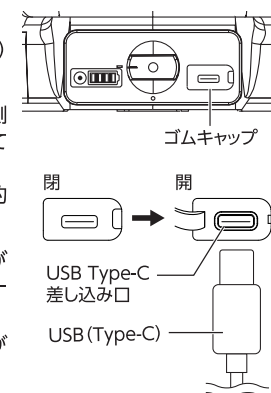
■ご使用の前に

必ず充電を行ってからご使用ください。

●着脱式リチウムイオンバッテリーの充電方法※

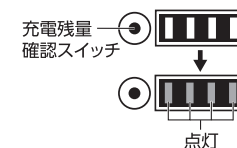
- ①バッテリーのゴムキャップを開け、付属のUSB (Type-C) ケーブルをUSB Type-C差し込み口に接続します。
- ②コンセントに繋ぐと充電容量に応じて、バッテリーの側面にある充電残量確認ランプが青色に点滅します。全てのランプが青色に点灯すると充電完了です。バッテリー残量がない状態からの充電時間の目安は約5時間です。
- ③バッテリーは本体に付いていても、外していても充電が可能です。バッテリーの寿命を長く保つために、バッテリーは使い切ってから充電することをおすすめします。

※充電しながらのご使用はバッテリーの劣化を早める恐れがあります。



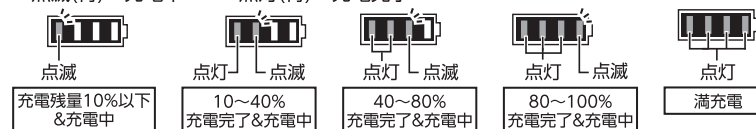
●充電残量確認スイッチの使用方法

充電残量確認スイッチを押すと、充電残量に応じて、充電残量確認ランプが30秒間青色に点灯または点滅します。



●充電残量確認ランプの見方

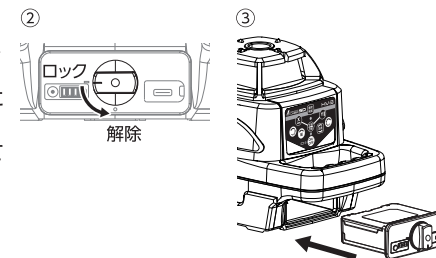
- ・点滅(青)…充電中
- ・点灯(青)…充電完了



充電残量確認ランプが1つ点灯の際は充電を行ってください。

●着脱式リチウムイオンバッテリーの交換方法

- ①本体の電源をOFFにします。
- ②バッテリー取り外しツマミを回し、バッテリーを取り外します。
- ③代わりのバッテリーを右図の向きに合わせて本体に差し込みます。
- ④バッテリー取り外しツマミを回して本体にしっかり固定してください。



■使用方法 HV-3

●自動モード

通常、電源を入れると自動モードになり、自動整準を開始します。自動整準中は整準ランプ(緑色LED)が点滅します。整準が完了すると整準ランプが点灯し回転ヘッドが回り始めます。しばらくの間整準の微調整をします。自動整準範囲は $\pm 5^\circ$ 以内です。 $\pm 5^\circ$ を超えるとバッテリー残量警告ランプ/自動整準範囲外表示(赤色LED)が点灯します。

●手動モード

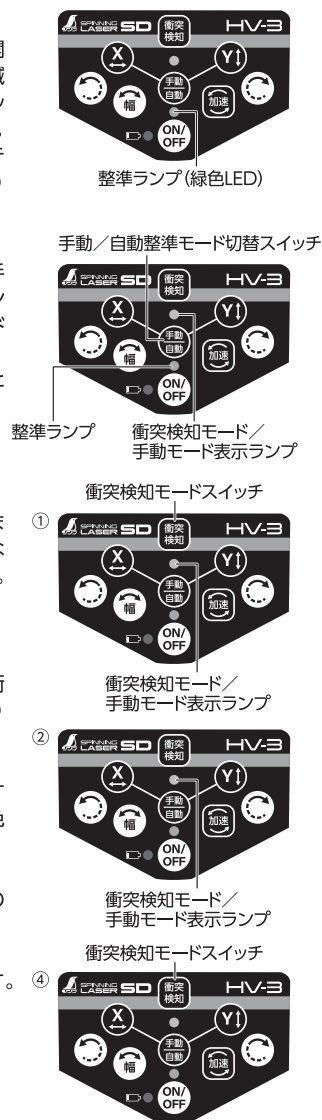
傾斜面で使用する場合に手動モードを使用します。手動/自動整準モード切替スイッチを押すと整準ランプ(緑色LED)が点滅し、衝突検知モード/手動モード表示ランプ(青色LED)が点灯します。自動整準されていなくても回転ヘッドを回転することができます。

●衝突検知モード

衝突検知モードは、本体が何らかの原因で動いてしまい位置がズレた時に、使用者が誤って読み取りをしないようにレーザー照射を自動的に止めるモードです。衝突検知モードは自動モードのみ使用できます。

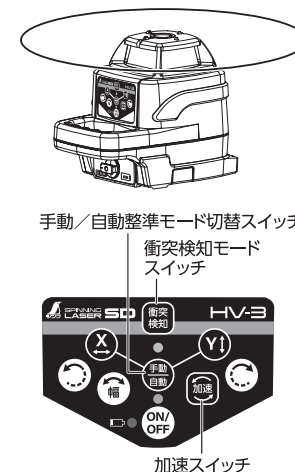
設定・解除・復帰方法

- ①電源を入れて衝突検知モードスイッチを押すと衝突検知モード/手動モード表示ランプ(青色LED)が点滅します。
- ②解除する時は、衝突検知モードスイッチを再度押すと衝突検知モード/手動モード表示ランプ(青色LED)が点滅します。
- ③本体を設置した位置から動いた場合、回転ヘッドの回転が止まりレーザーポイントが点滅します。
- ④復帰する時は、衝突検知モードスイッチを押します。衝突検知モードが解除され、復帰します。



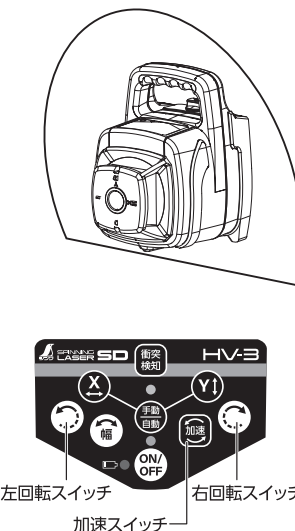
●水平設置で使用する場合

- ①本体を平らな面に置るか、三脚に取り付けて水平($\pm 5^\circ$ 以内)になるように置いてください。
- ②電源を入れて自動整準を開始します。
- ③手動モードを選択するときは手動/自動整準モード切替スイッチを押してください。衝突検知モードを選択する時は衝突検知モードスイッチを押してください。
- ④回転を止める時は加速スイッチを押してください。
- ⑤回転ヘッドの回転速度を変える時は加速スイッチを押してください。回転速度は600/300/150/0rpmに設定できます。*周囲の明るさに適した回転速度で使用してください。



●鉛直設置で使用する場合

- ①本体を平らな面に立てて置るか、三脚に取り付けて水平($\pm 5^\circ$ 以内)になるように置いてください。
- ②電源を入れて自動整準を開始します。
- ③回転を止める時は加速スイッチを押してください。
- ④回転ヘッドの回転方向を変える時は左回転スイッチまたは右回転スイッチを押してください。
- ⑤回転ヘッドの回転速度を変える時は加速スイッチを押してください。回転速度は600/300/150/0rpmに設定できます。*周囲の明るさに適した回転速度で使用してください。



*受光器をご使用の場合はレーザーの回転速度を600rpmに設定してください。

●ポイントモード

周囲の明るさに応じてレーザーポイントが見やすい回転速度に調整してください。

回転速度を変える

加速スイッチを押してください。

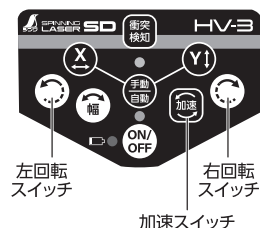
600/300/150/0rpmの4段階の調整ができます。

回転を止める・回転を開始する

加速スイッチを押してください。

回転ヘッドの寸動

回転ヘッドを停止した状態で左回転スイッチまたは右回転スイッチを押すと回転ヘッドを少しずつ移動することができます。長押しすると連続的に移動します。



左回転スイッチ

右回転スイッチ

加速スイッチ

●スキャンモード

スキャンモードは、指定の巾でレーザーポイントが往復してラインに見えるモードです。

比較的、遠距離でもレーザーラインが見えます。

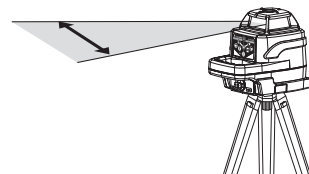
スキャン幅切替スイッチで照射幅を4種類から選択できます。

①電源を入れ、自動整準が完了したら、スキャン幅切替スイッチを押してください。回転ヘッドが往復運動を始めます。

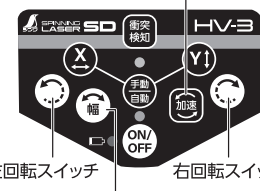
②スキャン幅を減少させる時、増加させる時はスキャン幅切替スイッチを押してください。0°、15°幅、50°幅、100°幅、220°幅の調整ができます。

③スキャンを時計回りに移動させる時は右回転スイッチを押し、反時計回りに移動させる時は左回転スイッチを押してください。長押しすると連続的に移動します。

④スキャンモードを終了しポイントモードに戻す時はスキャン幅切替スイッチを押し、0°にしてから加速スイッチを押してください。



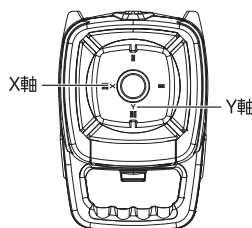
加速スイッチ



左回転スイッチ

右回転スイッチ

スキャン幅切替スイッチ



X軸

Y軸

●手動モード

手動モードでX軸とY軸を±5°まで傾けることができます。

X軸とY軸の方向は本体上面の表示を参照してください。

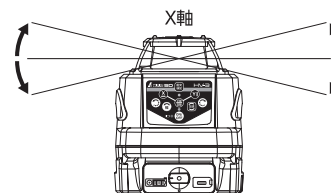
●手動モードでの使用(X軸とY軸を手動で傾ける)

①電源を入れます。

②手動/自動整準モード切替スイッチを押すと整準ランプ(青色)が点灯して手動モードに変わります。

③X軸傾斜スイッチを長押しするとX軸が傾き、Y軸傾斜スイッチを長押しするとY軸が傾きます。長押しし続けると往復します。

③ X軸傾斜スイッチ長押しで傾く



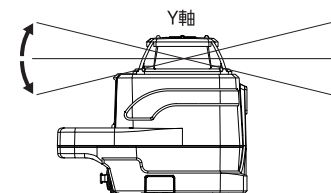
X軸

② 手動/自動整準モード切替スイッチ



整準ランプ(青色)

Y軸傾斜スイッチ長押しで傾く



Y軸

④手動モードから自動モードに戻すには手動/自動整準モード切替スイッチを押してください。

④ 手動/自動整準モード切替スイッチ



●バッテリー残量警告機能

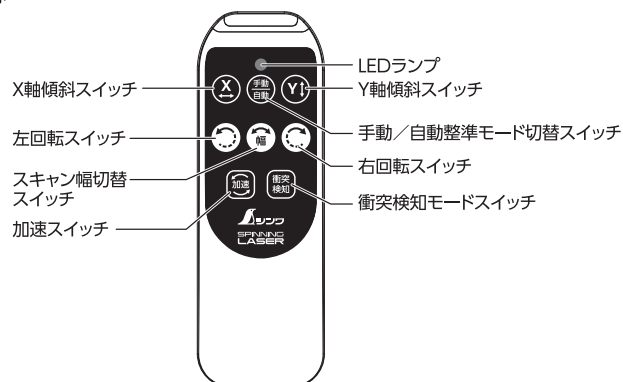
ご使用中に操作パネルのバッテリー残量警告ランプ/自動整準範囲外表示が点滅した場合はバッテリー残量が少ない状態ですので、リチウムイオンバッテリーの充電または交換を行ってください(p.8「●着脱式リチウムイオンバッテリーの交換方法」を参照)。



バッテリー残量警告ランプ/
自動整準範囲外表示

■リモコン (HV-3付属品)

●各部の名称

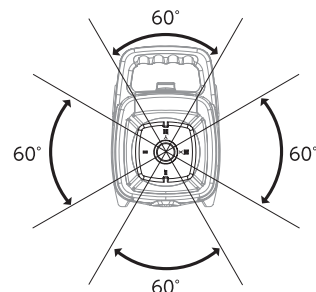


■リモコンの使用方法

●受光距離と範囲

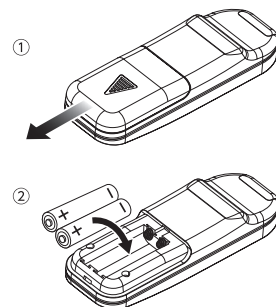
リモコンの受光距離※は最大で20mです。
リモコンの操作はレーザー照射窓に向け、レーザー照射窓の中心から60°以内で操作を行なってください。

※受光距離は周囲の環境によって変わります。



●電池の入れ方

- ①電池ボックスのフタを矢印方向にスライドさせてフタを外します。
- ②単4アルカリ乾電池2本をプラス (+) とマイナス (-) の向きを合わせて正しくセットしてください。
- ③フタを溝に合わせてスライドさせて取り付けます。



●操作方法

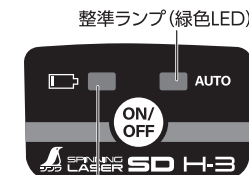
リモコンを使用してスピニングレーザーのモード切替や回転ヘッドの操作を行うことができます。

■使用方法 H-3

●自動モード

電源を入れたら、自動整準を開始します。自動整準中は整準ランプ (緑色LED) が点滅します。整準が完了すると整準ランプが点灯し、回転ヘッドが回り始めます。しばらくの間整準の微調整をします。

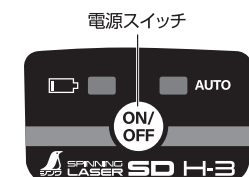
自動整準範囲は $\pm 5^\circ$ 以内です。 $\pm 5^\circ$ を超えるとバッテリー残量警告ランプ / 自動整準範囲外表示 (赤色LED) が点灯します。



整準ランプ (緑色LED)
バッテリー残量警告ランプ / 自動整準範囲外表示

●水平設置で使用する場合

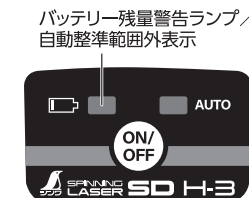
- ①本体を平らな面に置くか、三脚に取り付けて水平 ($\pm 5^\circ$ 以内) になるように置いてください。
- ②電源を入れて自動整準を開始します。
- ③電源を切る際は再度、電源スイッチを押してください。



電源スイッチ

●バッテリー残量警告機能

ご使用中に操作パネルのバッテリー残量警告ランプ / 自動整準範囲外表示 (赤色LED) が点滅した場合はバッテリー残量が少ない状態ですので、リチウムイオンバッテリーの充電または交換を行ってください (p.8「●着脱式リチウムイオンバッテリーの交換方法」を参照)。



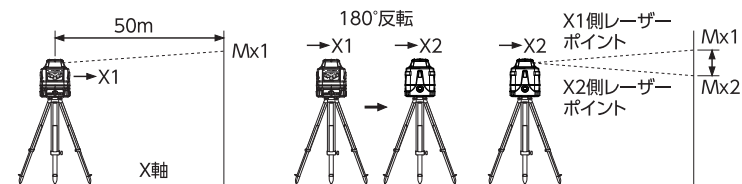
バッテリー残量警告ランプ / 自動整準範囲外表示

■使用前の点検

スピニングレーザーを使用する際には必ず下記の点検と調整を行なってください。

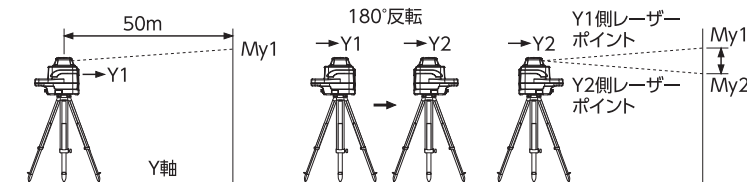
●水平回転X軸の点検

- ①壁から50m離れた所に三脚の脚頭が水平(±5°以内)になるように置き、本体のX1面が壁に向くように三脚に取り付けます。
- ②電源を入れて自動整準を開始します。
- ③自動整準の終了後、回転ヘッドが回転を始めますので加速スイッチを押して回転を止めてください。
- ④右回転スイッチまたは左回転スイッチを押してレーザーポイントを壁に照射し、レーザーポイントの中心に印(Mx1)を付けます。
- ⑤三脚の位置を動かさないようにしながら本体を180°回転してX2の面を壁に向け固定します。
- ⑥自動整準が終わるまで待ち、右回転スイッチまたは左回転スイッチを押して⑤で付けた印Mx1の付近にレーザーポイントを照射してレーザーポイントの中心に印(Mx2)を付けます。
- ⑦Mx1とMx2の高さ方向の差が10mm以下ならばX軸の調整の必要はありません。差が10mmを超えている場合は調整・修理が必要です。シンワサービスセンター宛に依頼してください。



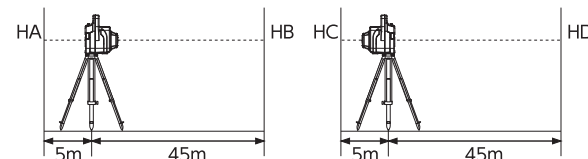
●水平回転Y軸の点検

- ①壁から50m離れた所に三脚の脚頭が水平(±5°以内)になるように置き、本体のY1面が壁に向くように三脚に取り付けます。
- ②X軸と同様の手順で操作を行なって印My1とMy2を付けます。
- ③My1とMy2の高さ方向の差が10mmを超えている場合は調整・修理が必要です。シンワサービスセンター宛に依頼してください。



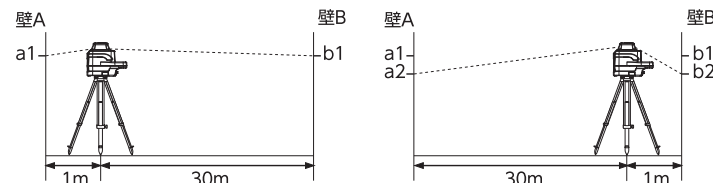
●鉛直回転Z軸の点検

- ①距離50mの壁と壁の間(またはボールとボールの間)にスピニングレーザーを置きます。
- ②本体を片方の壁から5m、もう片方の壁から45m離れた位置に設置します。三脚の脚頭が垂直(±5°以内)になるように据え付けてください。
- ③電源スイッチを押して電源を入れてください。自動整準が始まります。
- ④自動整準が終わったら、壁にあるレーザーポイント中心の高さ(下図HA、HB)を測定します。
- ⑤三脚の位置を動かさないようにしながら本体を180°回転させ固定します。
- ⑥自動整準が終わるまで待ち、壁にあるレーザー中心点の高さ(下図HC、HD)を測定します。
1=HA-HC, 2=HB-HD
- ⑦1と2の差が10mmを超えている場合は調整・修理が必要です。シンワサービスセンター宛に依頼してください。



●円錐エラーの点検

- ①本体を三脚に固定し、壁(またはボール)Aから1m、対向する壁(またはボール)Bから30m離れた位置に三脚の脚頭が水平(±5°以内)になるように置きます。
- ②電源を入れて自動整準を開始します。
- ③自動整準の終了後、回転ヘッドが回転を始めますので加速スイッチを押して回転を止めてください。
- ④レーザーポイントを近い方の壁Aに照射し、レーザーポイントの中心に印a1を付けます。
- ⑤レーザーポイントを遠い方の壁Bに照射し、レーザーポイントの中心に印b1を付けます。
- ⑥電源を切り本体を壁Bから1m離れた位置に移動し三脚の脚頭が水平(±5°以内)になるように置きます。
- ⑦再度、電源を入れて自動整準を開始します。
- ⑧自動整準の終了後、回転ヘッドが回転を始めますので加速スイッチを押して回転を止めてください。
- ⑨右回転スイッチまたは左回転スイッチを押してレーザーポイントを近い方の壁Bに照射し、レーザーポイントの中心に印b2を付けます。
- ⑩右回転スイッチまたは左回転スイッチを押してレーザーポイントを遠い方の壁Aに照射し、レーザーポイントの中心に印a2を付けます。
- ⑪高さa1a2と高さb1b2の差[a1a2-b1b2]が6mmを超えている場合は調整・修理が必要です。シンワサービスセンター宛に依頼してください。



■仕様

HV-3

機 種	HV-3 グリーン		HV-3 レッド	
品 番	70817	70821	70816	70820
受光器(付属品)	受光器	デジタル 受光器	受光器	デジタル 受光器
光 源	可視光レーザーダイオード			
出 力	4.5mW以下(クラス3R JISC 6802:2018)			
波 長	515～530nm(緑) 地墨ポイント645～655nm(赤)		630～640nm 地墨ポイント645～655nm	
測定範囲	直径800m(半径400m)			
水平精度	±20°(100mで±10mm)			
鉛直精度	±30°(100mで±15mm)			
使用温度範囲	-10～50℃		-10～45℃	
自動整準範囲	±5°			
傾斜時警告	自動整準範囲を越えると回転ヘッド停止、バッテリー残量警告ランプ点灯			
回転速度	600／300／150／0rpm			
スキャン幅	15°／50°／100°／220°			
電 源	着脱式リチウムイオンバッテリー、ACアダプター			
バッテリー容量	3,200mAh			
連続使用可能時間	23時間		30時間	
バッテリー残量警告	使用中にバッテリー残量警告ランプが点滅			
防塵・防水性能	IP66※			
本体サイズ	高さ180×巾138×奥行き210mm			
製品質量	1,710g			
三脚取付ねじ	5/8インチ			
付属品	収納ケース、受光器、単3アルカリ乾電池 4本(受光器用)、受光器ホルダー、 レーザーメガネ、充電アダプター(USB Type-C)、 着脱式リチウムイオンバッテリー(予備)、リモコン、単4アルカリ乾電池 2本(リモコン用)			

※防塵性能:塵埃が侵入しません。防水性能:いかなる方向からの強力なジェット噴流水によっても有害な影響を受けません。

リモコン (HV-3付属品)

赤外線照射距離	最大20m
電 源	単4アルカリ乾電池 2本 (付属の電池はモニター用のため、寿命が短い場合があります。)
本体サイズ	132×44×23mm
製品質量	60g(電池含)

H-3

機 種	H-3 グリーン		H-3 レッド	
品 番	70807	70819	70806	70818
受光器(付属品)	受光器	デジタル 受光器	受光器	デジタル 受光器
光 源	可視光レーザーダイオード			
出 力	4.5mW以下(クラス3R JISC 6802:2018)			
波 長	515～530nm		630～642nm	
測定範囲	直径400m(半径200m)			
水平精度	±20°(100mで±10mm)			
使用温度範囲	-10～50℃		-10～45℃	
自動整準範囲	±5°			
傾斜時警告	自動整準範囲を越えると回転ヘッド停止、バッテリー残量警告ランプ点灯			
回転速度	600rpm			
電 源	着脱式リチウムイオンバッテリー、ACアダプター			
バッテリー容量	3,200mAh			
連続使用可能時間	24時間		35時間	
バッテリー残量警告	使用中にバッテリー残量警告ランプが点滅			
防塵・防水性能	IP66※			
本体サイズ	高さ180×巾138×奥行き210mm			
製品質量	1,670g			
三脚取付ねじ	5/8インチ			
付属品	収納ケース、受光器、単3アルカリ乾電池 4本(受光器用)、受光器ホルダー、 レーザーメガネ、充電アダプター(USB Type-C)、着脱式リチウムイオンバッテリー(予備)			

※防塵性能:塵埃が侵入しません。防水性能:いかなる方向からの強力なジェット噴流水によっても有害な影響を受けません。

■故障かな?と思ったら

修理の依頼をされる前に、下記の表を確認してください。下記の方法でも解決できない場合は保証書・ユーザー登録シートに記載の「保証規定(無償修理および盗難・火災補償)」を確認のうえ、シワサービスセンター宛に連絡してください。

トラブル状況	確認事項
レーザーポイントが 薄い、出ない	●リチウムイオンバッテリーの充電はされているか?→充電をしてください。 ●照射口は汚れていないか?→照射口を柔らかい布などできれいに拭いてください。
レーザーポイントが 点滅する	●傾いた場所に設置していないか?→衝突検知モード時は水平な場所に設置してください。
充電ができない	●本体にUSB(Type-C)ケーブル、充電アダプターにUSB(Type-A)ケーブルは接続されているか?→しっかりと差し込んでください。 ●充電可能回数(500回)を超えていないか?→リチウムイオンバッテリーの交換修理を依頼してください。
衝撃を与えてしまった	p.15～ ■ 使用前の点検」を行ってください。

■修理およびメンテナンス

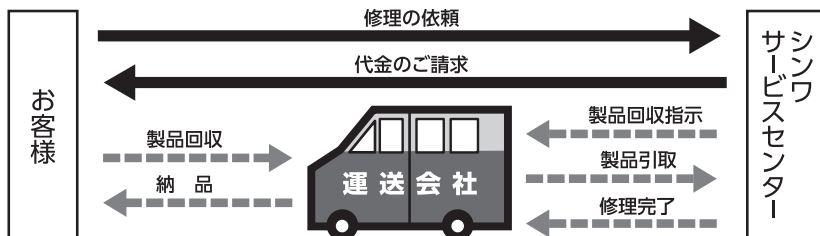
シンワ「スピニングレーザー SD HV-3/H-3」は精密機器です。精度維持および永くご使用いただくために、シンワサービスセンター宛に年1回の定期点検（有料）をご依頼くださることをおすすめします。

Shinwa Service System [シンワサービスシステム]

保証書・ユーザー登録シートで事前にユーザー登録（無料）をしていただきますと、メンテナンスご依頼の時に迅速に対応できます。短納期によるメンテナンスサービス体制で原則として4営業日以内に弊社から発送いたします。

また、ご購入日から1年間は、万一盗難や火災に遭っても5,000円※の自己負担で新品をお届けします。

※ユーザー登録済みの製品1点の場合の金額です。レーザー本体や受光器など複数台の補償が必要な場合は、それぞれの製品に対して各5,000円の合計金額がお客様の自己負担額となります。



⚠ 修理や検査は保証書・ユーザー登録シートをご用意のうえ、お問い合わせください。

⚠ 受光器をお持ちの場合は、受光器と一緒に送付してください。

下記のお電話かFAXまたはお問い合わせフォームより受け付けております。

レーザー・光学機器専用お問い合わせ先

〒959-1276 新潟県燕市小池3485 シンワサービスセンター

TEL 0120-305143

FAX 0120-305144

受付時間 AM8:30～PM5:00 土日祝日除く

お問い合わせ
フォーム
(Web申し込み)

<https://www.shinwasokutei.co.jp/support-top/laser/>



QRコードを読み取り「メールでのお問い合わせ」よりお問い合わせください。お急ぎの際は、お手数ですがお電話にてお問い合わせください。

レーザー・光学機器の部品保有期間は廃番後3年間となります。それ以降は在庫がなくなり次第、もしくは廃番後5年経過したものを提供終了とさせていただきますのでご了承願います。